

(別添4)

### 第三者評価結果に対する福祉サービス事業者のコメント

(令和2年3月18日記載)

この度は、当法人が運営する共同生活援助第二明星学園において、第三者評価を実施して頂き、また理念や日々私共が取り組んでいる支援等について、高く評価して頂きましてありがとうございました。

昨年度、当法人の障がい者支援施設に引き続き受審した、グループホームの第三者評価においても、多岐にわたる項目についての調査となりましたが、その一つ一つを振り返りながら、運営・管理していく上で施設としてのやるべきことを再認識することができました。

今回も私共が思っている以上に高く評価して頂いた部分が多く、その部分については日々取り組んでいる支援に対して自信を持って続けていくこと、また高い評価に恥じないように継続して努力していく謙虚な気持ちも併せ持って取り組んでいきたいと改めて思いました。

一方で足りない部分、改善する必要がある点もまだまだありました。具体的には、事業計画書で計画したことに対する取り組み内容や振り返りが明確になっていないこと、事業計画書や重要事項説明書、運営規程等その他の書類等について、利用者への説明や周知のための分かりやすい資料作成が不十分でした。評価されてみれば、その通りだと感じるところであり、事業計画したことに対する振り返りを記載するように努め、利用者への周知方法も併せて工夫できるものを考えていきたいと思えます。

防災関係では、避難訓練が実施されていないこと、災害時の協力体制の確認がされていないことなど、利用者の安全を考える上で基本的なことができていませんでした。今後、地元自治会と協力し合える関係作りも併せて取り組んでいきたいと考えています。

利用者調査では、全体的には利用者に満足頂いているという印象を受けましたが、一部では利用者同士の関係に不満を訴えている方もいること等を教えて頂きました。今後も、利用者に満足して頂けるように、利用者の気持ちに寄り添い、相談を繰り返す中で不満の一つ一つを取り除いていきたいと思えます。

また、世話人などの教育や職場環境を見直しながら職員が長く働ける職場として定着すること、さらに地域の方々と互いに支え合える関係を構築することで、私共が目指す、法人の理念でもある「みんな幸せになりたい あなたも私も」に近づいていけるものと信じています。今回の第三者評価は、より良い事業所を目指していくための道しるべだったと感じています。

この度は、有意義な機会をいただきまして、誠にありがとうございました。

- \* 公表の同意をした場合は、評価機関に、電磁的に作成し電磁的に保存した媒体及び当該媒体を出力した書面（署名及び押印をすること。）を提出すること。
- \* 評価機関は、福祉サービス事業者から提出のあった当該書面を県へ提出すること。

社会福祉法人明星会  
第二明星学園  
園長 宮下 智